北 中 だ よ り

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No32
文責 芹川博文
12 月 13 日（金）

寒さの中でも 心はホカホカ

～ 一人暮らし高齢者宅を訪問 清掃活動と菊の花で地域貢献 ～

３年生が、学校の近所の高齢者一人暮らしのお宅を訪問し清掃活動をさせていただきました。学校の近くでありながら初めて知る道や家々。「こんにちは」「おじゃまします」と、初めて出会う地域の方。実際に歩き、出会い、体験することの大切さを感じました。師走の寒空の下、生徒たちは、窓ふき、草取り、ゴミの分別など、自分たちで考えた作業に黙々と取り組みました。ある男子生徒は、「蛍光灯カバーの中の虫やゴミを取り除き、きれいにしたことを特に喜んでもらいました」とのこと。掃除後に、北中で育てた菊をプレゼントして訪問宅を後にしました。

作業を見守りながら、「一人じゃできなかった。ありがたいです。」と何度も言ってくださった方。生徒たちの姿に感激され、帰り道も途中まで一緒に歩いて見送ってくださった方。生徒たちの方こそ、地域の方々に感謝された体験を忘れないことでしょう。義務教育の最終学年に、地域貢献を体験する意義を感じました。

事前に訪問宅を調整し、当日も生徒たちと一緒に同行してご指導・サポートしていただきました民生委員の緒方様と中津様、本当にありがとうございました。

菊池北小・中学校の「源流」は？

～ 歴史を知ることの大切さ 菊池北小・中合同学校運営協議会より ～

菊池北小・中合同の学校運営協議会が開かれ、その中で、地域学校協働活動の井上統括推進員から話していただいた「北小、北中の歴史」が、大変興味深いものでした。

創立 32 年目の北小学校は、元をたどれば 10 校ほどが「合流」しているとのこと。１９９３年（平成５年）に隈府小（高野瀬）、豊間小、竜門小（遊蛇口）が統合して菊池北小がスタート。その後、水源北小（杉生分校）、重味小、水源小（渡打分校）、中山小、竜門小（小木分校）の流れを持つ竜門小、水源小、迫水小の３校が 2013 年（平成 25 年）に統合され、今の菊池北小に。

一方、創立 57 年目の菊池北中は、1968 年（昭和 43 年）に隈府中、迫間中、竜門中が統合して創立、２０００年（平成 12 年）には菊池東中が統合され、今の菊池北中に。脈々と流れる菊池北小中学校の「歴史の流れ」。「故（ふる）きを温（たず）ねること」の大切さを改めて感じました。

「核兵器廃絶」「世界平和」も人と人との対話から

～ ４人の高校生平和大使 ノルウェーの高校生への出前授業の姿から ～

「核兵器の問題が今も続き、苦しんでいる人々がいること伝えたいと思いました。ディスカッションの中で、『その思いがすごく伝わってきた』と、現地の高校生の方々が言ってくださって、それがとても嬉しかったし、もっと多くの人に伝えたいと思いました。」

日本被団協のノーベル平和賞の授賞式に参加した高校生平和大使４人が、ノルウェー（オスロ）の現地高校生に出前授業をしました。上は、その時のインタビューコメントです。４ 人の中には、唯一、広島県、長崎県以外からの参加者である熊本の九州学院高校の生徒もいます。

このコメントからも伝わるように、私たちの思いは確かに伝わっていきます。「私たちは微力ではあっても無力ではない」の言葉の通り、言葉と行動で思いを伝えることの大切さを考えました。

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、
人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。　ユネスコ憲章（前文）より